

2009/02/23 (mon)

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「アミューズが農業プロジェクト」
- 2) 「大人の社会見学」
- 3) 「ショウガ好きジンジャー増加」

1) 「アミューズが農業プロジェクト」

サザンオールスターズや福山雅治らが所属する総合エンターテインメント企業、アミューズが新規事業として農業に乗り出している。題して「ららら農業プロジェクト」。企画者でフードプロデューサーの南清貴さんは、「芸能を手掛けるアミューズが参入することで、農業に興味を示していなかった若者たちを取り込んでいきたい」と意欲をみせる。

昨年、千葉県南房総市に農地を借り、地元農家の人たちと共同で土作りから始めた。現在、白菜、小松菜、キャベツなどの収穫を前にしている。アミューズからは春日由輝ら若手アーティストらが出向いて農業を体験し、その奮闘ぶりをホームページ (<http://www.lalala-project.jp/>) で公開している。

また、1月4日からはテレビ東京で同社制作の農業情報番組「畑のうた」（毎週日曜日午前11時から）もスタートした。番組冒頭には女優、上野樹里さんが登場して案内人を務める。番組のテーマは「作る人と食べる人の両者が幸せになる豊かな『農業』とは何か?」。異業種から農業に移った生産者や、こだわり農法の生産者らを紹介しながら意見を求めている。農業事業は「まだ実験場」という。とはいえ、新たなスタイルを発信しながら、農作物の流通、外食産業への進出も視野に入れている。

同氏は「芸能は昔、祭りから始まり、祭りは農業や収穫から始まった。アミューズも根幹にいきていたのでは」と語っている。

まわりがとやかく言わなくても国民各々が自国の食について考えられるのが理想的だが、そうは言われていられない時代。今後もこうした「キッカケ」がどんどん増えていって、少しでも多くの人が考えることにつながれば良いと思う。

2) 「大人の社会見学」

昨今の不況で、消費が冷え込むなか、内食回帰で売上が伸びる企業もある。

その一つである日清食品では、大阪池田市にある「インスタントラーメン発明記念館」の社会見学が、予約待ちが続くような人気を博している。

定員は48名で、週に5日、平日は日に3回、土日祝は4回も行っている。参加費は中学生以上でも500円だ。

世界で一つの自分だけのカップヌードルが作れたり、チキンラーメン手作り体験工房があり、あのチキンラーメンを生地から作れるという。3分で食べられるものを90分かけて手作りする。

今や世界で普通に食べられるカップラーメンは、安価で手早く食べられるが当然の食品だが、こうして自らその商品が作られる行程全てを手作りすることでその商品に対する見方も変わるだろう。インスタントラーメンのできる過程で使われる技術がいかに画期的かを知ることができる。

こういった社会見学は探すと他にも沢山あり、大人が童心に帰って、という表現ももちろんその通りだが、大人としてもとても勉強になる良い機会が持てると言えるだろう。

3) 「ショウガ好きジンジャラー増加」

チューブ入りおろしショウガを持ち歩いて、食事のときはそのショウガを何にでもつけて食べる、ジンジャーつまりショウガ好きの人が増加している。マヨネーズ好きでいつもマヨネーズを食べ物に付けて食べる人を「マヨラー」ということのもじりでジンジャラーとも呼ばれている。

ショウガを付けて食べると身体がぽかぽかして冷え性対策になり、ダイエットにも役立つという。紅茶、カップ麺、ファーストフードなど何にでも使用する。このショウガ人気に対応して、企業の側も発泡酒やスープなどショウガ系商品を続々と出している。

元は永谷園の“永谷園生姜部”がブームの火付け役とも言われている。生姜に魅了された社員たちが実際に育てて味わい、おいしさを追求しスープや雑炊で数種類商品化されており、ヒット商品が生まれている。

味がクセになるので冬を越えてもブームは続きそうだ。和の調味料として日本食以外の様々な料理に合わせてもらいたい。